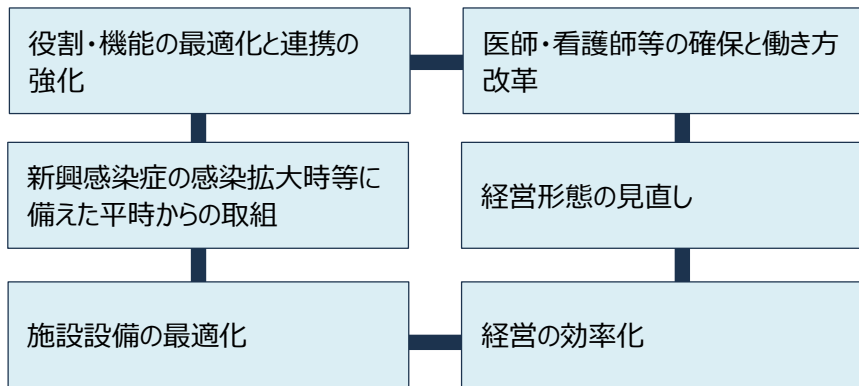


●えびの市立病院 経営強化プラン(概要版)

1. 経営強化プラン策定趣旨

- 持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、医療確保等を進めつつ、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、公立病院の経営を強化していくことが重要となっています。
- こうした状況を踏まえ、病院事業を設置する地方公共団体は、「持続可能な地域医療体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（令和4年3月29日総務省自治財政局長通知別添）に基づき、令和4年度又は令和5年度中に「公立病院経営強化プラン（以下、経営強化プランという。）」を策定することとされています。

2. 経営強化プラン策定に求められる視点



3. 計画対象期間

令和6（2024）年度～令和9（2027）年度（4年間）

4. 当院の経営状況

〔稼働実績〕

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度- 令和元年度
1日あたり入院患者数（人）	31.1	25.8	28.1	25.3	▲5.8
地域一般病床	24.8	19.6	22.0	18.8	▲6.0
地域包括ケア病床	6.3	6.2	6.1	6.5	0.2
入院単価（円）	19,885	25,685	22,930	26,009	6,124
1日あたり外来患者数（人）	91.8	80.9	82.4	77.6	▲14.2
外来単価（円）	12,967	11,398	8,701	10,057	▲2,910
1月あたり新入院患者数（人）	32	30	30	26	▲6
救急車受入件数（件）	184	161	136	132	▲52
平均在院日数（日）					
地域一般病床	23.1	20.6	12.3	26.2	3.1
地域包括ケア病床	19.6	24.5	24.3	22.1	2.5

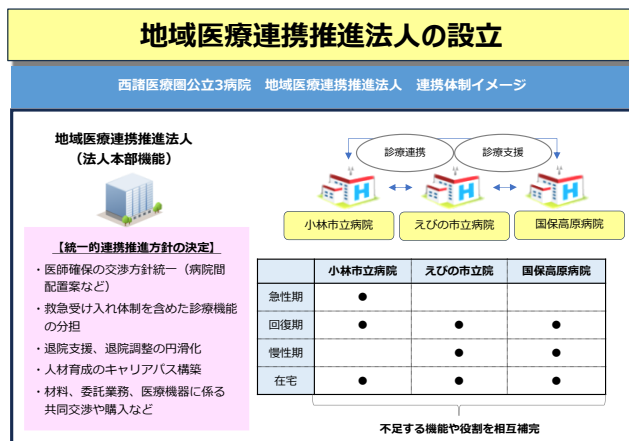
〔収支状況〕

千円/年	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度		対令和元年度
	金額	比率	金額	金額	金額	比率	
医業収益	609,485	100.0%	533,218	551,182	529,096	100.0%	▲ 80,390
入院収益	271,218	44.5%	233,963	244,687	240,509	45.5%	▲ 30,709
外来収益	260,156	42.7%	220,410	213,031	200,148	37.8%	▲ 60,009
その他医業収益	18,783	3.1%	19,677	33,549	27,775	5.2%	8,993
他会計負担金	59,329	9.7%	59,167	59,915	60,664	11.5%	1,335
医業費用	832,667	136.6%	825,192	821,500	810,075	153.1%	▲ 22,592
給与費	482,924	79.2%	498,770	505,541	505,763	95.6%	22,839
材料費	184,404	30.3%	149,738	136,160	126,448	23.9%	▲ 57,956
経費	130,325	21.4%	139,956	138,188	135,524	25.6%	5,198
減価償却費	33,637	5.5%	35,090	40,862	36,057	6.8%	2,420
資産減耗費	801	0.1%	1,346	477	5,865	1.1%	5,064
研究研修費	576	0.1%	292	272	418	0.1%	▲ 158
医業損益	▲ 223,181		▲ 291,974	▲ 270,317	▲ 280,979		▲ 57,798
医業外収益	189,411	31.1%	312,464	366,472	350,021	66.2%	160,609
医業外費用	27,458	4.5%	31,675	24,388	25,792	4.9%	▲ 1,666
経常損益	▲ 61,228		▲ 11,185	71,767	43,250		104,478
特別利益	-	0.0%	8,500	-	-	0.0%	
特別費用	-	0.0%	8,500	-	-	0.0%	
当年度純損益	▲ 61,228		▲ 11,185	71,767	43,250		104,478

5. えびの市立病院の目指す姿と重点課題

〔目指す姿〕：下記の重点課題を確実に実行・実現していくことで、病院としての診療機能向上を図り、持続可能な病院経営の実現を目指します。

重点課題1：小林立病院・国民健康保険高原病院との連携体制強化



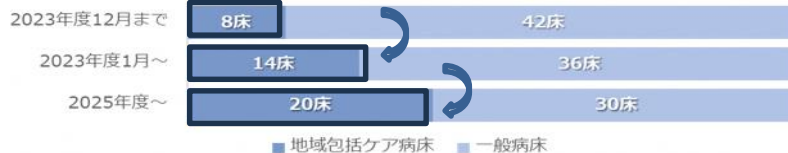
重点課題2：回復期機能の充実・地域包括ケアシステムへの貢献

①地域包括ケア病床の増床

増床の主な目的

地域包括ケアシステムの構築に貢献すること

- 急性期⇒回復期に移行した入院患者をより多く受け入れ、リハビリテーションや退院支援を活発に行うことで、スムーズな在宅復帰を後押しします。
- 在宅患者の急変時対応やレスパイト入院を積極的に受け入れ、在宅医療の充実に寄与します。



②在宅医療参画を通じた地域包括ケアシステム構築への貢献

重点課題3：地域医療機関及び介護施設等との連携体制強化

①地域医療機関及び介護施設との顔の見える関係づくり強化

地域医療機関等との連携

平時・有事に関わらず患者を中心とした円滑な連携を取り合えるよう、**地域医療機関等と顔の見える関係**を構築していきます。

②レスパイト入院の受入促進

レスパイト入院とは？

「介護者・被介護者双方の負担軽減」を目的とした**在宅医療を支えるための入院**

- 自宅療養中の患者が一時的に入院できます。
- 介護を担う方（主に患者家族等）の介護疲れや冠婚葬祭により「在宅介護が困難な場合」に利用できます。
- 介護保険での「ショートステイ」が利用困難な方も利用できます。
- レスパイト入院中は、基本的に治療や検査を行いません。

重点課題4：収支改善に向けた各種取組強化

①精神科関連の患者受け入れによる収益増加

当院の精神科について

- ◆**標榜の経緯**
…令和5（2023）年5月に一般内科・精神科の常勤医師が着任。同年10月より精神科の標榜を開始。
- ◆**入院受け入れ対象患者（想定）**
…精神科病院を受診するには至らないものの、日常生活における悩みやストレスによって身体の不調や不具合が生じている方。
- ◆**今後の展開**
…地域需要に応じて、「不眠外来」等の専門外来の立上りや精神科訪問診療の実施を検討。

②診療報酬改定を踏まえた適切な方針決定・運用対応

③当院診療内容の積極的なPR活動

④適切な人員体制の構築

⑤市況を踏まえた業務委託方針の見直し対応

6. 経営強化プランにおける取組

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

① 地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割・機能

ア. 回復期医療

地域包括ケア病床の増床による回復期機能のさらなる強化を図るとともに、えびの市において患者数が多い精神疾患領域への対応として、内科疾患を有する軽度の精神疾患患者の入院を積極的に受け入れる等、地域のニーズに応じ、適切な医療提供体制を構築していきます。

イ. 急性期医療

地域住民が安心して生活できるよう、小林市立病院をはじめとする急性期病院等との連携強化を前提に、緊急の入院受入や医療相談への丁寧な対応、適切な医療機関への迅速な搬送等を提供できる体制を維持していきます。

② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

ア. 在宅復帰支援、在宅療養の後方支援

令和7（2025）年度には地域包括ケア病床数を現在の14床から20床まで増床することを目指すとともに患者の円滑な在宅復帰を支援できるよう、地域医療連携室の人員体制を補強する方針。

イ. 地域住民の疾病予防や健康づくり活動

今後も継続的に、えびの市が主催する院外での市民向け出前講座へ定期的に参加し、地域住民の疾病予防や健康促進に努めます。

③ 機能分化・連携強化

- ✓ 当院で対応可能な疾患・容態等を明確化し、それらを地域の診療所や介護施設に日頃から周知しておくことや、各診療所や介護施設において受け入れ可能な患者像を把握しておくことで、入院から転院・退院（在宅復帰）まで滞りなく調整できる体制を目指します。
- ✓ 小林市立病院等の中核病院に急性期患者を迅速に搬送し、急性期経過後の患者を積極的に受け入れる体制を強化していく方針です。

④ 医療機能や医療の質、連携の強化等にかかる数値目標

- ✓ 6ページに詳細掲載。

⑤ 一般会計負担の考え方

- ✓ 地方公営企業繰出金基準に則った一般会計負担としますが、病院改築後44年が経過していることから、病院の建築改良に対する繰出金が予想されます。

⑥ 住民の理解のための取組

- ✓ これまでの取り組みを継続していくとともに、当院の状況や情報等を地域住民の皆様に齟齬なくかつ遅滞なくお伝えできるよう、引き続き市のホームページや市広報誌を通じた情報提供に努めます。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

① 医師・看護師・メディカルスタッフ等の確保

- ◆ 医師 ⇒ 経営面からも最重要
- ◆ 医療相談員 ⇒ 地域連携強化を目的に会計年度任用職員を採用
- ◆ 薬剤師 ⇒ 現状、常勤薬剤師1名の負担軽減・業務拡充

② 働き方改革への対応

現在、宿日直許可を取得しており、夜間当直体制の維持に努めています。医師の時間外労働縮減に向けた取組については、他院での先進事例等も適宜調査の上、参考にしながら積極的に実施していく方針です。

7. 経営形態の見直し

これまでの経営状況を鑑み、地方公営企業法の一部適用を継続します。当院が健全経営をおこなうにあたり、人的資源の確保、給与の適正化が課題であるとするれば、経営形態の変更も有力な選択肢となりますが、現在においてはそのような状態になく、経営形態の変更にもなう事務経費負担の増加などデメリットが大きくなる可能性もあります。

今後の経営状況によっては、メリット・デメリットを比較した上で、状況に応じた経営形態の選択を行うことを検討します。

8. 新興感染症の拡大時に備えた平時からの取組

(1) 感染拡大時に備えた病床の確保

- ✓ 現在、新型コロナウイルス感染症患者について、5床にて集中的な治療を行っており、対象患者不在時にも新型コロナウイルス感染症患者の受け入れのため病床を確保。
- ✓ 当運用は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束に至っても変更せず、引き続き、各種感染症患者及び疑い患者を中心に治療を行う方針としています。

(2) 院内感染対策の徹底、感染防具等の備蓄等

- ✓ 全職員に対する感染防止・衛生管理研修を定期的に実施。
- ✓ 屋外診察室や待合室等を活用した発熱トリアージ体制構築、院内各所への飛沫防止フィルムやアクリルパーテーション・消毒液の設置、個人防護具の備蓄を進めます。
- ✓ 利用者に対する待合い時の3密防止や入館時の出入り口制限、面会の制限などの協力要請。

9. 施設・設備の最適化

□ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

当院は、令和5（2023）年時点で、病院改築より44年が経過

大規模な改修が必要な時期が迫っている状況

えびの市公共施設等総合管理計画（長寿命化計画）の基本方針に基づき、慎重に対応を進める。

- ① 保有総量の縮小による将来更新負担額の軽減
- ② 長寿命化の推進によるライフサイクルコストの軽減
- ③ 施設管理の効率化によるコスト削減

□ デジタル化への対応

- ◎ 令和6（2024）年4月に電子カルテの導入を予定
 - ✓ 患者数増加に向けた施策の検討・実行に充てられる時間も捻出していきたい。

業務効率化

費用対効果

◎ ICTの活用

- ✓ 業務効率化への寄与
- ✓ 働き方改革への対応
- ✓ セキュリティ対策への対応

10. 経営効率化に向けた目標指標

〔医療機能や医療の質、連携強化に係る数値目標〕

医療機能や医療の質、 連携強化に係る数値目標	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	2022年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
計画期間						
医療機能						
新入院患者数	人/月	25.8	29	30	33	34
救急車受入件数	件/年	132	140	150	160	170
訪問診療件数	件/月	-	10	10	15	15
医療の質						
在宅復帰率（地域包括ケア）	%	87%	72.5%	72.5%	72.5%	72.5%
平均在院日数	日	29.2	29.5	30.3	30.8	31.5
うち一般病床	日未満	26.2	24.0	24.0	24.0	24.0
うち地域包括ケア病床	日以上	22.1	50.0	50.0	50.0	50.0
連携の強化等						
紹介率	%	26.7%	27%	27%	27%	27%
逆紹介率	%	34.4%	35%	35%	35%	35%
その他						
ふるさと外来非常勤医師	人	-	2	2	2	2

〔経営指標に係る数値目標〕

経営指標に係る数値目標	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	2022年度 実績	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
計画期間					
収支改善					
経常収支比率	105%	85%	89%	95%	100%
医業収支比率	65%	68%	73%	78%	82%
修正医業収支比率	58%	61%	66%	71%	76%
収入確保の視点					
病床数	床	50	50	50	50
うち一般病床		42	36	30	30
うち地域包括ケア病床		8	14	20	20
最大稼働病床	床	37	33	35	38
入院平均患者数	人/日	25.3	28.0	30.0	33.0
うち一般病床		18.8	18.0	18.0	19.0
うち地域包括ケア病床		6.5	10.0	12.0	14.0
病床稼働率	%	50.7%	56%	60%	66%
うち一般病床		45%	50%	60%	63%
うち地域包括ケア病床		82%	71%	60%	70%
入院平均単価	円/人/日	26,009	27,492	27,826	28,015
うち一般病床		23,000	24,710	24,710	24,710
うち地域包括ケア病床		32,500	32,500	32,500	32,500
外来平均患者数	人/日	80.9	84.0	89.0	99.0
うち精神科患者			3.0	5.0	10.0
外来平均単価	円/人/日	10,057	10,100	10,100	10,100
経費削減の視点					
対医業収益給与比率	96%	87%	82%	76%	72%
対医業収益材料費比率	24%	24%	24%	24%	24%
経営の安定に係る視点					
院内検討組織開催数	回/年	12	12	12	12
薬剤師数	人	1	1	1	2
医療相談員	人	1.8	2.7	2.7	2.7

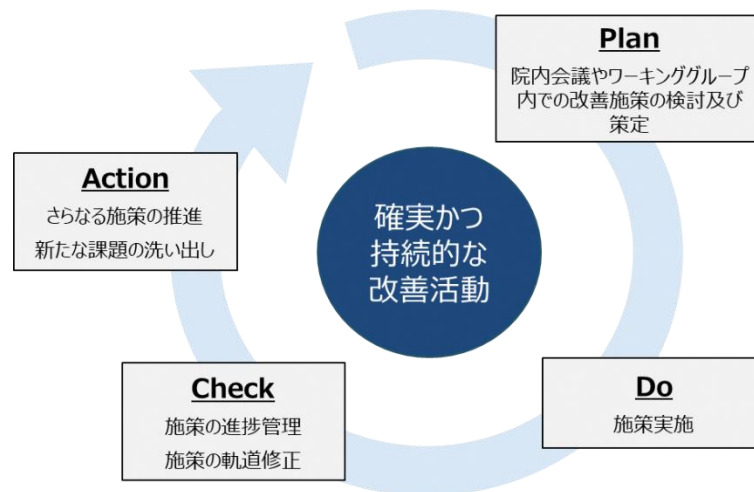
1.1. 経営効率化に向けた収支計画

千円/年	実績		計画期間				
	2022年度		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
	金額	対医業収益	金額	金額	金額	金額	対医業収益
医業収益	529,096	100.0%	587,076	626,434	687,557	740,999	100.0%
入院収益	240,509	45.5%	280,970	304,695	337,439	362,153	48.9%
外来収益	200,148	37.8%	208,706	221,129	245,975	270,821	36.5%
その他医業収益	27,775	5.2%	36,569	39,779	43,312	47,193	6.4%
他会計負担金	60,664	11.5%	60,831	60,831	60,831	60,831	8.2%
医業費用	810,075	153.1%	858,610	863,301	883,511	899,442	121.4%
給与費	505,763	95.6%	509,851	514,898	525,317	530,517	71.6%
材料費	126,448	23.9%	140,304	149,710	164,318	177,090	23.9%
経費	135,524	25.6%	145,430	141,912	141,912	141,912	19.2%
減価償却費	36,057	6.8%	60,144	53,900	49,084	47,042	6.3%
資産減耗費	5,865	1.1%	2,463	2,463	2,463	2,463	0.3%
研究研修費	418	0.1%	418	418	418	418	0.1%
医業損益	▲ 280,979		▲ 271,533	▲ 236,867	▲ 195,954	▲ 158,443	
医業外収益	350,021		162,453	168,802	178,117	184,479	
うちその他医業外収益	11,268		17,328	17,328	17,328	17,328	
うち他会計補助金	39,404		40,618	40,809	40,887	41,091	
うち他会計負担金	149,762		104,507	110,665	119,902	126,060	
うち補助金	149,586		-	-	-	-	
医業外費用	25,792		25,585	25,585	25,585	25,585	
経常損益	43,250		▲ 134,665	▲ 93,650	▲ 43,422	451	

収益増加を図り、計画最終年度での経常収支黒字化をめざす

1.2. プランの点検・評価・公表

〔点検・評価の体制〕



〔点検・評価の時期及び公表の方法〕

- 本プランを確実に推進するため、えびの市立病院検討委員会を毎年開催し、数値目標の達成状況や経営改善の取組状況について点検・評価を行います。
- 評価結果については、えびの市のホームページ等で公表します。